



大江戸線延伸の熱い思いを東京都へ要望

～促進大会の決議を受け、要望書を提出 練馬区～

17日、志村豊志郎練馬区長（大江戸線延伸促進期成同盟会長）は区民、区議会議員とともに東京都に対して、大江戸線延伸の早期延伸に関する要望書を提出した。

志村区長は、土地区画整理事業をはじめとする区がこれまでに行ってきたまちづくりについて触れたうえで、「早急に鉄道事業の許可の取得等に向けた手続きを進めてほしい」と熱い思いを込めて要望した。

対応した前田副知事は「これまでの練馬区の取組みに対して、敬意を表します。クリアしなければならない課題について、引き続き、取組みを進めていきます」と話した。

今年11月17日に行われた「大江戸線延伸促進大会」では、地元選出の衆議院議員、都議会議員、区議会議員等を迎え、会場一杯の区民が集まる中で、地域の力を結集して、国や東京都に対し、早期延伸の実現を要請していく旨の決議を行った。



前田東京都副知事へ要望書を手渡す志村区長



大江戸線延伸促進大会の会場の様子

【要望書】 別紙資料のとおり

【これまでの取り組み】

平成12年1月、運輸大臣（現国土交通大臣）の諮問機関である運輸政策審議会（現交通審議会）は、光が丘から大泉学園町への延伸を「2015年までに整備着手することが適当な路線」として位置づけている。

練馬区は、区北西部の鉄道空白地域を改善するため、大江戸線延伸の早期実現を区政の最重要課題の一つとしている。区民・区議会が一体となって「大江戸線延伸促進期成同盟（会長 志村豊志郎練馬区長）」を設立し、25年間、延伸促進活動に取り組んでいる。

区は大江戸線の導入空間となる補助230号線の整備にともない、土支田中央土地区画整理事業や地区計画など、沿線地域にふさわしいまちづくりにも取り組んでいる。さらに、大江戸線延伸推進基金を設立（平成23年4月施行）し、毎年継続的に積立てを行っている。

【問い合わせ】 都市整備部大江戸線延伸推進課大江戸線延伸推進担当係 電話 03-5984-1584